



タンザニア

企業訪問調査レポート [6] : JD PHARMACY

～医薬品他 輸入・販売代理店～

■ タンザニア連合共和国 — 基礎データ —

- 面積: 94万 7,300平方 キロメートル[日本の約2.5倍] (在日大使館)
- 人口[2013年8月]: 約4,925万3,126人 (世銀)
- 首都: ドドマ[法律上の首都] / 人口208万3,588人 (2012年 国家統計局)
実質的な首都機能はダルエスサラーム / 人口436万4,541人 (2012年 国家統計局)
- 名目GDP[2013年]: 332億8,500万ドル (2014年10月版 IMF Database)
- 1人当たり名目GDP[2013年]: 719.26ドル (2014年10月版 IMF Database)
- 実質GDP成長率: 7.2*% (2014年10月版 IMF Database) *: 暫定値
- 為替レート[中央銀行 2014年11月版]: 1ドル ≙ 1,598.60 タンザニア シリング (2013年 平均値)

出所: JETROホームページ 国・地域別情報(J-FILE)「タンザニア概況(2015年2月更新)」



■ 調査実施 : 2014年 10月、11月

■ 分野 : 医療品、医療機器、化粧品、日用雑貨の輸入、販売代理、卸売、小売

■ 特徴 : タンザニアを代表する大手の医薬品、化粧品、日用品の輸入・販売代理店。2011年のタンザニアのトップ100中小企業のリストで、第49位にランクインした。(収益成長率などが指標。英字日刊紙で最も発行部数の多いTHE CITIZENメディアグループなどの選定による。)
直営販売店を経営している他、主要スーパーマーケット、薬局、医療施設や薬局、NGOにも薬品を卸しており、タンザニア全土に流通網を有している。

企業概要

- 社名 : JD PHARMACY
- 住所 : Nyerere Road 10 Vingunguti P.O.Box1899
Dar es Salaam, Tanzania
- URL : <http://www.jd-pharmacy.com/index.html>
- 設立年 : 1989年 代表者はKiran Pattni氏(インド系タンザニア人)
- 従業員数 : 正規社員 約1,000人
- 本社 : ダルエスサラーム空港から街中へ行くJulius K. Nyerere Rd沿いのVingunguti地区に所在する(空港からは約4km、街中からは約10kmの距離)。本社の事務所の隣には冷蔵設備もある倉庫があり、薬品や化粧品など仕入れた製品はここで管理される。
- 直営店 : ダルエスサラームに6店舗あり、うち3店舗が卸売業務も兼ねている。
- 社是 : より良い製品をより多くの人に



本社の外観(ゲート前)



本社の入口



JD PHARMACY

...your partner in healthcare

ビジネスの概要 ①

主要取扱ブランド名

- 主力製品: Johnson & Johnson

(1) 薬品: Johnson & Johnson、Darfra、Novarits、Alcon、GlaxoSmithKline、Wyeth、Mega Lifesciences、MSD、Pfizer、Thornton & Ross、Sanofi Aventis、Benylin

(2) 日用消費財: Johnson&Johnson、Novarits、Pfizer、Alcon、Varta Consumer Batteries、Thornton & Ross、GlaxoSmithKline、Sanofi Aventis、Junble Fomula、Ansell、Remington、Super-Max、Wisdom、Seven Seas、Canderel、Russell Hobbs、SoftSheen-Carson、Shield

(3) 医療機器など: Vestergaard Frandsen SA

取扱商品は医薬品のほか、乾電池から南京錠、洗車用品、トースターなどの小型家電まで多様化しているが、メインは医薬品。

Shopper's、Shrijee'sなどのダルエスサラームの大手スーパーマーケットの販売担当者によると、JD PHARMACYはその商品受発注の正確さ、商品管理の信頼性や豊富な品揃えから、薬品、化粧品ともに扱う卸会社の中では、最も信頼できる会社として名前があがった。

2012年には電動ひげそり機などのメーカーのRemington(英)、コーヒーメーカーや湯沸かし器などのRussell Hobbs(英)、2014年に乾電池などのVarta(独)の公式代理店となっている。医薬品に基盤を置きつつも、取扱商品を多様化させていっている。

TFDAへの商品代行登録

薬、化粧品などの国外からの輸入、タンザニア国内での販売には、Ministry of Health and Social Welfareの下部の規制機関であるTFDA(Tanzania Food and Drugs Authority)に申請し、許可を得なければならない。サンプルの検査も必要となる。

JD PHARMACYでは、自社で取り扱うすべての海外メーカーの商品のTFDAへの申請・登録を、代行している。通常、新規申請・登録であれば6~9カ月、更新であれば3~6カ月の期間がかかる。更新については、製品種別により1年に一度もしくは2年に一度などに定められている(例: 医薬品は1年に一度、歯磨き粉など日用雑貨は2年に一度)。申請・登録・更新の際、JD PHARMACYへの代行手数料の支払いは発生しない(TFDAに支払う申請・登録・更新費用自体は、海外メーカーが負担する)。代行登録により海外メーカーは、申請・登録・更新手続きに手間をかけることなく、タンザニア国内に広い流通網を持つJD PHARMACYの関連店舗で自社製品を販売することができる。

販売の特徴

- セールsteam(営業)は6人いる。Anita Divecha氏が輸入から販売業務まで全てを統括。他5名は特に役割は決めず、その時々で分担を決めている。

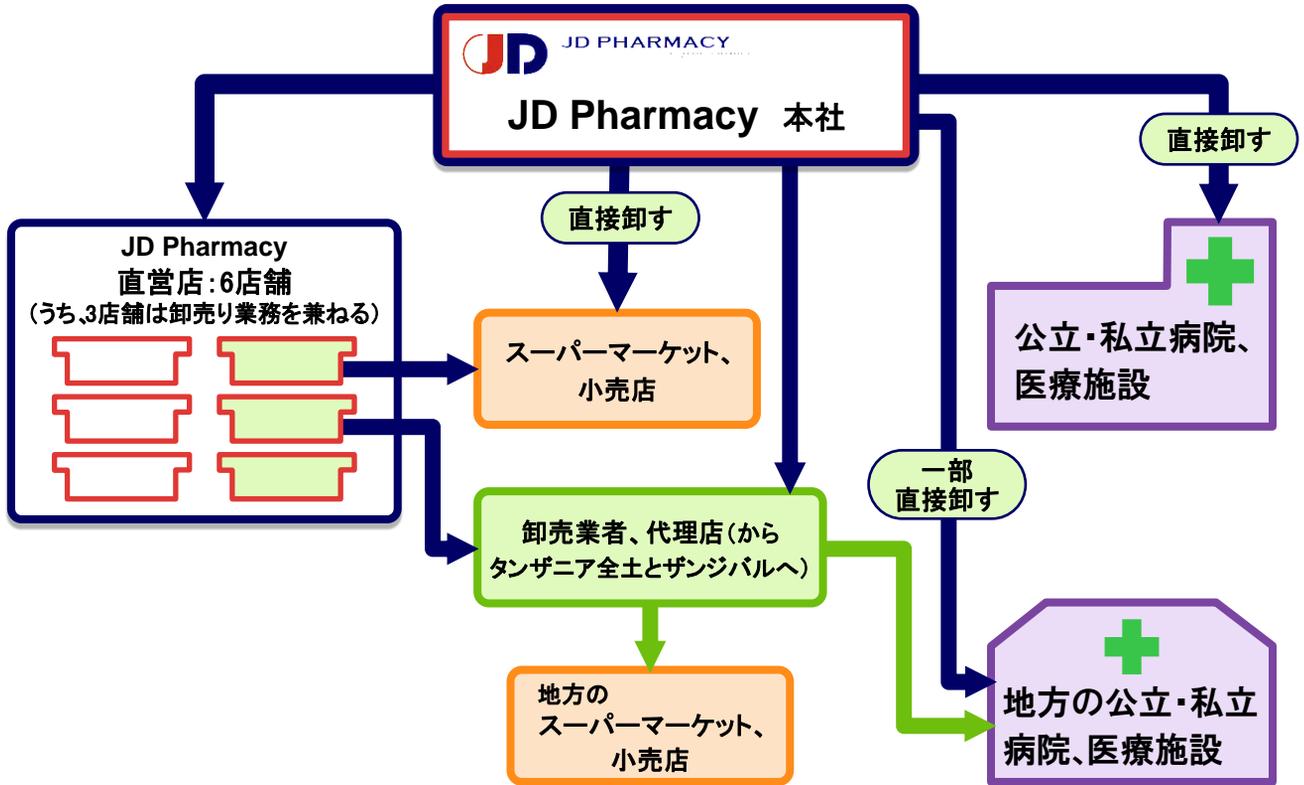
- 直営店では当該区域のニーズに合った商品展開を行っている。例えば、ダルエスサラームの下町カリアコーのUhuru Streetにある1号店では、鎮痛剤などの薬や歯磨き粉、乾電池などの日用雑貨主体の展開とし、化粧品は置いていない。他方、比較的所得の多い人々が利用するムササニ半島やショッピングモール内の直営店では、イギリス製の薬剤や化粧品、香水など、高価な商品も置いている。

直営店では、価格は全店共通である。マージン比率は、新製品は様子を見るために20%と少なめの比率で設定し、売れ行きが伸びれば比率を上げることもある。

- NHIF(National Health Insurance Fund)やAAR Insurance Tanzania Limitedなどの保険加入者に薬剤を提供する提供元のひとつとなっている。薬代は、保険加入者からではなく、これらの保険団体からJD PHARMACYに支払われる。



カリアコー地区Uhuru Streetの直営店
(1号店・卸売業兼務)



●直営店: 6店舗

- ・Uhuru Street店(カリアコー地区): 1990年オープンの1号店。卸売業務も兼ねる。
- ・Azikiwe Street店(アスカリモニュメント近く): 卸売業務も兼ねる。
- ・Harbour View Towers店
- ・Viva Tower店: 2014年にオープン。
- ・The Village Walk店(郊外、ムササニ半島): 卸売業務も兼ねる。
- ・Mlimani City店(郊外、ムウエンゲ地区のショッピングモール内)



Viva Tower内の一番新しい直営店
(2014年12月現在)

●配送体制

配送車を6台保有している。3t車が4台、1.5t車が1台。それよりも小型のものが1台。
ダルエスサラーム市内はもちろん、ダルエスサラーム州外の地方へも配送する。



本社建物手前の倉庫から商品をトラックに積んでいるところ

JETRO

ビジネスの概要 ③

マーケティング手法：広告・宣伝

- ホームページ、フリーペーパー、ショッピングバッグなどで広告展開している。
- 配送車には車体にJD PHARMACYのロゴマークをつけるとともに、主要商品のブランディングも行なっている。
- ダルエスサラームでは、要所要所にある直営店そのものが宣伝の場となっている。



配送車と主要商品のブランディング

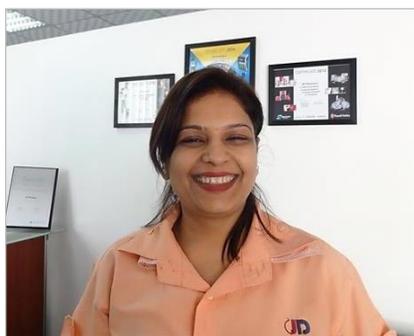
社会的活動の取り組み

病院に無料で薬剤を提供する試みや、チャリティウォークのスポンサーとなるなど、様々な取り組みを行なっている。社主がライオンズクラブの会員であり、社会的活動には積極的である。

外資系企業と取り組んでみたいこと

輸入品の医療機器をすでに2年ほど前から取り扱っている。血圧計などは、病院やクリニックへの販売だけでなく、薬局での小売りもしている。

編集後記



営業を統括しているAnita Divecha氏

本社にアポイントメントなしに医薬品の販売相談に来た地元の製薬会社のスタッフにもAnita Divecha氏は、とても丁寧な対応であった。直営店の雰囲気やスタッフの感じも良く、本社では、取扱各社の商品見本が見やすく陳列されており、各取引先と丁寧に仕事をしている様子が見えがわかる。

医薬品の取扱企業という基本部分は押さえながらも、今後は消費者のニーズの変化とともに商品の取り扱いもますます多様化していくのではないかとと思われる。基礎をしっかりと積み上げたいうえで、幅を広げていっているように思われた。



JETRO

【免責事項】本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。ジェトロでは、できるかぎり正確な情報の提供を心掛けておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロおよび執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。